

三木清 （號） 折田學者。明治二十年一月五日兵庫縣生れ、昭和二十年九月二十一日歿（二八九七一九四五）。筆名法詩、清、紀代四。大正九年京都帝國大學文學部哲學科卒業。十一年ドイツ留學、昭和二年法政大學教授、五年法政大學維持法違反に檢擧。教職を失ひ著述活動。二十年再檢擧せられ獄死。

著譯書 『パスカル 人間の研究』（大正十五年六月二十五日、再刊・昭和二十四年十一月五日岩波書店、『パスカル 人間の研究』五十五年七月十六日「岩波文庫」）、『唯物史觀と現代の意識』（昭和二年五月二十日岩波書店）、『社會科學の發端概念』（昭和四年四月十日鐵塔書院）、『史の觀念論の諸問題』（昭和四年六月五日岩波書店）、『藝術とソルタス主義』（合著、昭和五年二月十五日プロレタリア科學研究所編刊、鐵塔書院發賣）、『マルクス著・リヤザノフ編 コドイニツチエ・イデオロギー』（譯、昭和五年七月十五日岩波書店「岩波文庫」）、『觀念形態論』（昭和六年六月十七日鐵塔書院）、『イデオロギー論』（合著・理根社編、昭和六年七月十日理根社出版部）、『歴史哲學』（昭和七年四月二十五日岩波書店「續哲學叢書」）、『危機に於ける人間の立場』（昭和八年五月二十日鐵塔書院）、『人間の學的又證論』（昭和九年七月九日改造社「文藝復興叢書」）、『純文學のたゆみ』（合著・田邊茂一編、昭和十年五月二十日純律國屋出版部「純律國屋・パンフレット」）、『タリヌトテレス 形而上學』（昭和十年六月五日岩波書店「大思想文庫」）、『影なき影』（編、昭和十一年七月七日自刊。三木喜美子治癒・書簡・遺

- 稿)、『學生と社會』(合著・河合榮治郎編、昭和十二年六月、千八  
 日日本評論社)、『ソリストテレス』(昭和十二年十月五日岩波書店  
 『大教育家文庫』、再刊、二十四年五月二十日岩波書店)、『政治と  
 文化』(昭和十二年十一月二十九日日本青年外交協會『戰時文化叢  
 書』)、『現代の記録』(昭和十四年二月十日作品社『作品文庫』)、  
 『ソクラテス』(昭和十四年六月二十日岩波書店『大教育家文庫』、  
 再刊、二十二年十一月十日岩波書店)、『構想力の論理』(第一、昭  
 和十四年七月十五日、第一、二十一年六月十五日岩波書店)、『哲學  
 入門』(昭和十五年二月二十日岩波書店『岩波新書』)、『時代の條  
 件』(合著・池島重信編、昭和十五年九月十七日名取書店)、『上海』  
 (合著、昭和十六年十月十日三省堂)、『哲學ノ一ト』(昭和十六年  
 十一月二十日、再刊、二十二年十一月二十日河出書房)、『知識哲學』  
 (昭和十七年二月十日小山書店)、『學問と人生』(昭和十七年二月  
 十五日中央公論社)、『續哲學ノ一ト』(昭和十七年四月二十日河出  
 書房)、『技術哲學』(昭和十七年九月十日岩波書店)、『日本文化  
 の構想と現實』(合著、二枝博音編、昭和十八年一月二十日中央公  
 論社『大東亞基礎問題研究』)、『大東亞  
 戰争陸軍報道班員手記』(從軍隨  
 想、(合著、文化奉公會編、昭和十八年八月二十日日本雄辯會講  
 談社)、『比島風土記』(合著、昭和十八年十一月十五日小山書店)、  
 『文學史方法論』(昭和二十一年四月二十日岩波書店)、『社會史的  
 思想史』(妹達天  
 初任五郎合著、昭和二十四年二月二十日岩波書店)、『テ  
 本多謙二  
 カルト著『省察』(譯、昭和二十四年七月二十日岩波書店『岩波文  
 庫』)、『哲學と人生』(昭和二十五年五月二十一日河出書房)、『西

田先生との對話 (昭和二十五年十月、千石角川書店「角川文庫」)

「讀書と人生」 (昭和二十五年七月、千石角川書店「新小山文庫」)

「人生論ノート」 (昭和二十九年九月、千石角川書店「新潮文庫」)

「哲学ノート」 (昭和二十二年九月、千石角川書店「新潮文庫」)

「哲学ノート」 (昭和二十二年十一月、千石角川書店「新潮文庫」)

「木清」 (入野收編集・解説、昭和四十一年五月、千石角川書店「現代

日本思想大系」)、「読書と人生」 (昭和四十九年七月、千石角川書店

「新潮文庫」) 等。

文献、高桑純夫著「木清の哲学」哲學の本質への反省 (昭和二十一年

七月、千石角川書店)、佐藤信衛著「西田幾多郎と木清」 (昭和二十

二年一月、千石角川書店、再刊、二月一日中央公論社)、唐木順二著「二

木清」 (昭和二十二年十一月、千石角川書店、筑摩書房支社)、北海道 谷川徹

「二木清の回想」 (昭和二十二年一月、千石角川書店)、今日出

海著「人間研究」 (昭和二十六年五月、千石角川書店)、宮川透著

「二木清」 (昭和二十二年七月一日東京大学出版会「近代日本の思想

家」) 等。